

更に越中国に贈る歌二首

三九二九番

旅たびに去いにし 君きみしも繼つぎて 夢いめに見みゆ 我あが片かた恋こひ
の 繁しげければかも

三九三〇番

道みちの中なか 国くにつみ神かみは 旅たび行きも し知しらぬ君きみを
恵めぐみたまはな

平群氏女郎、越中守大伴宿禰家持に贈る歌十二首

三九三一番

君きみにより 我わが名なはすでに 竜たつ田た山やま 絶たえたる恋こひ
の 繁しげきころかも

三九三二番

須す磨ま人の 海うみ辺へ常つね去さらず 焼やく塩しおの 辛からき恋こひをも
我あれはするかも